

「地価公示制度 50 周年記念セレモニー」開催報告



公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会では、地価公示法が昭和 44 年（1969 年）6 月 23 日に制定され、同年 7 月 1 日に施行されてから 50 周年を迎えることを記念し、令和元年（2019 年）6 月 19 日の第 55 回総会終了後、八芳園（東京都港区）において、「地価公示制度 50 周年記念セレモニー」を開催いたしました。

同記念セレモニーは、同日午後 4 時より行われ、開会に先立ち、地価公示制度を国民及び社会一般の方にさらに理解していただくことを目的に作成した動画「あなたの役に立ちたい～地価公示～」の上映が行った後、熊澤一郎前副会長からの開会の辞及び吉村会長からの式辞が述べられ、引き続き、石井啓一国土交通大臣から挨拶が、また、一般財団法人土地総合研究所の阿部健理事長から祝辞が述べられました。



開会に先立ち記念動画を上映



熊澤前副会長による開会の辞



式辞を述べる吉村会長



石井国土交通大臣の挨拶



ご臨席の国土交通省関係者



阿部土地総合研究所理事長の祝辞



石井国土交通大臣から吉村会長に感謝状（団体）が授与された

次に、国土交通大臣表彰が行われ、令和元年度地価公示功績者 8 名への大臣感謝状の授与並びに令和元年度不動産鑑定業功績者 3 名への表彰状の授与が行われたほか、昨年、発生した「大阪北部地震」等の災害に対し、被災地方公共団体等への支援に取り組む等、災害応急活動に貢献した団体への表彰として、本会及び 9 つの都道府県不動産鑑定士協会への感謝状の授与が行われました。



福田前副会長の地価公示制度 50 周年記念事業報告



熊倉顧問（前会長）による閉会の辞

引き続き、会場では、福田前副会長から、地価公示制度の認知度を高め、さらに普及をはかるために「地価公示制度 50 周年記念事業」に取り組んでいるとして、セレモニー開会に先立ち上映した地価公示制度 50 周年記念動画の作成のほか、地価公示川柳コンテストを実施し、応募総数 4,166 件の中から「地価こうじ 発酵重ねて 五十年」を最優秀賞に決定したとの報告が行われ、最後に熊倉顧問（前会長）の閉会の辞をもって、記念セレモニーは滞りなく終了いたしました。

【 式 辞 】

本日、ここに地価公示制度 50 周年記念セレモニーを開催するにあたり、一言、御挨拶申し上げます。地価公示制度は、高度成長期の地価高騰を背景に、適正な地価の形成に寄与することを目的として創設され、昭和 44 年に地価公示法が制定されました。そして、翌 45 年 1 月 1 日を価格の時点とする標準地の正常な価格を公示した第一回から数え、本年 3 月に公表されました、平成 31 年 1 月 1 日時点の価格の公示において、50 回の記念すべき節目を迎えました。

地価公示は、土地の取引価格に対する指標としてだけではなく、公共用地取得の補償額算定、土地の固定資産税、相続税等の課税基礎等に活用されており、国民生活や経済活動に不可欠な指標となっています。

我々 不動産鑑定士は、その地価公示の公表に至る膨大な作業の一翼を担っています。鑑定評価員として委嘱された 2408 名の不動産鑑定士が、全国 2 万 6000 地点の標準地の点検、事例資料等の収集・作成、分科会における総合的分析・検討、国土交通省の土地鑑定委員会に提出する鑑定評価書の作成などに、多くの時間と労力を費やしています。

当連合会においても、これらの作業を支援するため、昭和 49 年に地価調査委員会を設置、以後、この地価調査委員会を中心として、業務を適正かつ効率的に実施するための指針の作成や情報伝達、業務支援システムの構築と運用を行ってまいりました。

50 年という長期にわたって客観的な不動産指標を提供し続けてきた貴重な地価公示制度は、令和の新時代に移り、これからも国民共有の制度インフラとしての重要な役割を担っていくことと確信しております。

また、オープンデータ化の流れの中でも、これまでは一部だけが情報公開されていた鑑定評価書が、本年の地価公示からはインターネットを通じてすべてのページが公開されることとなり、今後は地価公示の果たす役割がより一層拡大することが期待されます。

我々不動産鑑定士は、多くの先達が築き上げてきた歴史と専門家としての重責に今一度思いを改め、地価公示制度の更なる発展のために、当連合会と一丸となって全力を尽くすことをお誓いし、私の式辞とさせていただきます。

令和元年 6 月 19 日
公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会
会長 吉村 真行